

古賀市地域公共交通計画における取り組み状況等について

○古賀市地域公共交通計画について

令和6年3月に策定した古賀市地域公共交通計画において、将来像「まちを支え、地域をつなぐ持続可能な公共交通」と掲げ、令和6年度から令和10年度において各施策・事業に取り組むこととしており、令和7年度の主な取り組み状況は以下のとおり。

【施策1. 交通ネットワークの再構築（計画：41～44ページ）】

事業1－1：現行路線の見直し（階層化）

①西鉄バス古賀市内線・コガバスの一体的な見直し

- ・R7年4月1日のダイヤ改正により平日25%ほどの減便。
小竹線の本格運行に向け、周知啓発を図り利用促進に繋げる取組を実施。併せて、利用実態を把握しつつ地域住民のニーズを踏まえ、ダイヤ見直し等について検討した。
(R8.6.1 コガバスダイヤ改正)
- ・R8年3月に自動運転バス実証運行を実施。
- ・コガバス（小竹線）と、西鉄バス市内線（小竹系統）の一体的な見直しについて研究していく。

②のるーと古賀の見直し

- ・R7年度より、平日2台運行を1台運行に変更し、運行経費を削減。収支率の向上につながった。
- ・利用者登録が不要で、乗車の予約が可能である「のるーとダッシュ」のサンコスモ古賀に設置分を古賀中央病院に移設。のるーとダッシュについては、依然利用率が低い傾向にあり、今後も周知啓発が必要であると考えている。
- ・電話予約の受付委託を廃止し、市役所にて電話予約の受付を開始した。

事業1－2：対応する移動ニーズの拡大

- ・おでかけタクシーについて、新規地域から導入についての相談があり、引き続き協議をしていく。

事業1－3：運転士の確保

①公共交通分野への就職促進

- ・公共交通分野への就職促進に向け、福岡県が作成したバス・タクシー運転手確保事業における運転体験会及び合同会社説明会のチラシについて、市公式SNS等で、情報発信を行った。

②二種免許取得支援制度の検討

- ・第二種運転免許取得支援事業補助金交付要綱を策定し、古賀市在住の従業員の第二種運転免許取得に係る経費を負担し、当該従業員を運転手として一か月超雇用している路線バス事業者又はタクシー事業者に対し、取得に要する経費の1／2を補助した。
(R7年度実績：3件)

【施策2．公共交通を利用しやすい環境の整備（計画：45～48ページ）】

事業2－1：駅や主要停留所における待合環境の整備

- ・ 交通案内サイネージ端末を市内5カ所（JR古賀駅自由通路、JRししぶ駅待合室、コスモス館、青柳郵便局、米多比郵便局）に設置し、公共交通に関する情報やバスナビ等を配信し、利用者にわかりやすく正確に情報を提供できた。また、緊急情報等を即時に確認できるようにした。
- ・ 公共交通利用環境整備支援金交付要綱を策定し、公共交通の維持や利用促進に資する取り組みに対して補助を行う。（R8年度へ繰越）

事業2－2：公共交通に関する情報周知の強化

- ・ 時刻表の配布や、広報こがにおける公共交通を特集した記事の掲載、古賀市公式ホームページや古賀市公式LINE等による時刻表や路線図の情報発信を行った。公共交通を交通手段として選んでもらえるきっかけをつくるため、今後も周知啓発に努めていきたい。
- ・ 時刻表内の路線図について、カラーユニバーサルデザインに配慮したものとした。

事業2－3：多様な交通サービスの一元化に向けた調査・研究

①情報の一元化に向けた調査・研究

- ・ R8年度からの導入に向けて、調査・研究を行った。（R8.6.1 my route導入）
- ・ 九州MaaS協議会と連携を行い、my routeの経路検索結果へのるーと古賀を反映予定。

②新たな料金体系等の導入に向けた調査・研究

- ・ R8年度からの導入に向けて、調査・研究を行った。
（R8.6.1 コガバス小竹線・JR古賀線 デジタル乗車券（定期券・回数券）導入）

【施策3. 利用の促進（計画：49～51ページ）】

事業3－1：戦略的モビリティ・マネジメントの実施

①公共交通の利用を促す情報提供

・時刻表の配布や、広報こがにおける公共交通を特集した記事の掲載、古賀市公式ホームページや古賀市公式LINE等による時刻表や路線図の情報発信を行った。公共交通を交通手段として選んでもらえるきっかけをつくるため、今後も周知啓発に努めていきたい。

・環境課で実施しているエコチャレンジ応援事業の中で、古賀市限定メニューとしてののーと古賀・コガバスの乗車も対象とし、利用促進につながった。（4-2と重複）

②集会・イベント時における利用喚起

・市が関連する行事、イベント等については、来場の際には公共交通機関での利用を推奨しており、周知の際にはチラシやSNS等を活用し、公共交通での来場を促す呼びかけを行っている。

事業3－2：公共交通の使い方講座等の開催

①子どもを対象としたイベント等の開催

・健康福祉まつり（10/19）やまつり古賀（11/16）等のイベント開催時に、「のーと古賀」のユーザー登録ブースを設けて、「のーと古賀」の周知啓発と新規ユーザー登録の募集を行い、新規会員登録者を増やし、利用に繋がるような取り組みを行った。

・JR九州の事業である「こどもぼうけんきっぷ」について、周知を行った。

※こどもぼうけんきっぷ…小学生限定で7/19～8/31までJR九州の普通・快速電車で100円で乗車できるきっぷ

②高齢者を対象とした使い方講座の開催

・自動運転バス実証運行説明会にあわせて、スマホ教室（のーとアプリ利用方法・予約方法について）を開催。

（開催日、開催場所：3/3市役所、3/4鹿部公民館、3/12リーパスプラザこが15名参加）

・健康福祉まつり（10/19）やまつり古賀（11/16）等のイベント開催時に、「のーと古賀」のユーザー登録ブースを設けて、「のーと古賀」の周知啓発と新規ユーザー登録の募集を行い、新規会員登録者を増やし、利用に繋がるような取り組みを行った。

【施策4. 様々な主体の参画・連携強化（計画：52～56ページ）】

事業4－1：市民の参画強化

①地域が主体となった取組の促進

・令和5年度から小竹地区の地域協議会が立ち上がり、地域の移動ニーズ等を踏まえあらゆる方策を検討した結果、コガバス（小竹線）の実証運行に至った。地域住民が主体となり、今後の地域公共交通を考えていかないといけないといった意識は少しずつ醸成されているのではないかと感じる。

・その他の地区においても、出前講座の依頼があり、高齢者になった時の移動手段の確保をどうしていくかといった問題意識を持たれている印象を受けた。

②市民との利用状況の共有

・公共交通を維持していくための地域住民の当事者意識や責任感の向上を図るため、公共交通の利用状況等について市のホームページ等で定期的に公開することについて検討中。

事業4－2：多様な分野との連携強化

・教育委員会において、市内2小学校の1年生から3年生までを対象に、通学定期券の一部を補助する取り組みを実施した。

・保健福祉部で実施している地域支え合いネットワーク全体会議に参加し、関係機関との連携を図った。

・環境課で実施しているエコチャレンジ応援事業の中で、古賀市限定メニューとしてののーと古賀・コガバスの乗車も対象とし、利用促進につながった。（3-1①と重複）

事業4－3：隣接市町との連携強化

・しこふむ地域（新宮町・古賀市・福津市・宗像市）において、交通連携会議を1回開催し、情報交換、意見交換等を行った。

・福岡県の「交通空白解消集中対策事業」の一環として、近隣市町との広域連携に関する協議（福津市・新宮町）を1回開催し、情報交換・意見交換等を行った。

事業4－4：企業との連携強化

・企業への通勤手段の確保について、企業と協議を行い、公共交通利用について協議を行った。今後も企業と連携した公共交通の在り方について模索していきたい。